

# 市民の暮らしを守り願いを実現する市政へ



日本共産党  
しばた 英一  
柴田 博

その他の  
質問事項

- ▼ 生活保護行政について
- ▼ 災害時の屋内避難所について

## ◆物価高騰対策について

**問** 物価高騰の消費に対する影響を緩和するためには、全ての値段を一気に下げる消費税減税しかないと考えるがどうか。

**答** 実現すれば効果が期待できるが、財源確保など課題もあり、国政での議論が必要と考える。  
(総務人事課)

## ◆地方創生臨時交付金を活用した施策について

**問** 地方創生臨時交付金を活用して、生活困窮世帯への支援や学校給食費の負担軽減等が考えられるが具体的にはどうか。

**答** 現在、生活困窮世帯への支援として住民税非課税世帯等に市独自の臨時特別給付金の支給、学校給食等の食材費高騰分への財政支援、子育て世帯へ国が行う子育て世帯特別給付金の上乗せ給付等を考えている。最終日に追加提案の予定。  
(財政課)

## ◆豪雨災害への備え

**問** 現在の災害ハザードマップにはないがホームページに記載されている「避難情報のポイント」や「避難行動判定フロー」なども盛り込んで改定する必要はあると考える。これらの情報を市民が理解し、災害に備えることが必要になるが、積極的な周知、活用などについてどう考えるか。

**答** ハザードマップは大事な情報であり、短いスパンでの改定や再配布も必要と考える。広報への掲載をはじめ、防災訓練、出前講座など折に触れて情報発信に努めていきたい。  
(危機管理課)



塩尻市災害ハザードマップ

# 市民の移動手段を守る交通機関の確保へ



新政会  
よこざわ 英一  
横沢 英一

その他の  
質問事項

- ▼ 自動運転実証実験について
- ▼ コロナ後の地域社会の変化と対応について

## ◆のりーとの実証状況は

**問** 循環線をのりーとに変えた結果はどうか。

**答** 中心市街地循環線で昨年10月から半年間実証運行を行った。総乗客数8883人で前年度年間5493人を上回り、平均乗車時間で約7分、予約から配車までの平均待ち時間が8分、運行エリア内の移動については、時間にとられない利用ができ、乗降拠点も1箇所、利便性が飛躍的に向上した。通勤、通学、小学生の塾通いなど新たな利用者が増加した。  
(都市計画課)

## ◆観光資源霧訪山の活用

**問** 霧訪山は信州里山選挙で1位になり大人気、今後も連携しPRを。

**答** 市と観光協会は、霧訪山、高ボッチ高原などアウトドアに関連した動画やモデルツアーコースを作成している。観光施策に反映させるよう引き

続き検討を行う。

(観光課)

**要望** 市内には地域で管理する里山が有る。市は連携してPRしてほしい。

## ◆建設業の働き方改革

**問** 働き方改革加速化プログラムを進捗は。

**答** 国は建設業における週休2日等の確保を始め、働き方改革を加速化させ、建設業の将来の担い手確保や労働環境改善の取り組み推進を図っている。市は本年6月から設計金額3500万円以上の工事に週休2日工事を適用し、希望に応じて必要な工事費等が追加される。  
(財政課)



利便性の高い「のりーと」